うきうきコドモックル
北海道立
子ども総合医療・療育センター
北海道
第56号
北海道立子ども総合医療・療育センター　広報誌
発　行　日　令和3年9月2日
発行責任者　續　晶子
編集責任者　髙室　基樹
〒006-0041　札幌市手稲区金山1条1丁目240番6
電話（代表）011-691-5696
URL　https://kodomo.hospital.pref.hokkaido.lg.jp/

X線血管造影装置が新しくなりました

放射線部　井上　勝広

本年6月より新装置が稼働しました。主に**心臓カテーテル検査・治療**を行うために使用されています。また、件数は多くはないですが腹部のX線透視検査にも使用されています。

今回は心臓カテーテル検査をメインにしたお話をしていきます。

1. 心臓カテーテル検査って？

小児循環器内科の先生達がカテーテルという細い管を足の付け根から血管内に入れます。細い管を慎重に心臓まで進めていき、心臓の各部屋や血管内の圧力・酸素の飽和度などを測定します。さらには心臓まで進めた管から造影剤というお薬を体に入れ、写真を撮ることで心臓の容積や形、血管や弁などの形や機能を調べることもできます。

少しだけ怖いかもしれませんが、当院では検査は**全身麻酔下で行う**ため、寝ている間に終わり、痛みを感じることはありません。

2. 新しい機械は何が変わったの？

①　小さなお子様に対する**診断能力を向上させるため**に、1秒間の最大撮影枚数がこれまでの30枚から倍の60枚となりました。

②　旧装置よりも綺麗な写真が**少ない被ばく量で撮影できる**ようになりました。

③　1度に見える体の範囲が広くなり、体の大きな患者様にも対応が容易となりました。

④　CTのような3D画像や頭の画像を撮影できるようになりました。

⑤　ケーブルがない超音波装置を導入したことで、検査の最初に行う血管の確保がスムーズに行えるようになりました。

⑥　カテーテルを行うお部屋の入り口を優しいピンク色に変更し、緑の草花を壁紙に用い、天井には青空や雲の装飾が行われ、開放感のあるお部屋へと変わりました。また音楽を聞いたり、映像を見ることも可能となったことで、子ども達の恐怖心を少しでも減らす工夫を施しました。

3. 実際のお部屋の写真

納涼お楽しみ会を開催しました！

令和3年8月4日（水）に「納涼お楽しみ会」を開催しました。

当日は、手稲養護学校の体育館にて、子どもたちとヨーヨー釣りやくじ引きなどを楽しみました。

コロナ渦のため、人数制限を行うなどの感染防止対策を徹底した上での開催となりましたが、子供たちと夏の思い出を作ることができました。

新型コロナワクチン集団接種会場へ医師を派遣しています！

コドモックルでは、新型コロナウイルスのワクチン接種を進めるため、令和3年6月19日から、北海道が設置している「北海道ワクチン接種センター」に、日替わりで医師を派遣し、ワクチン接種者の予診業務を行っています。

ワクチン接種が促進されるよう、コドモックルも引き続き貢献していきたいと思います。

この日は大場副センター長が予診業務に当たりました。

Twitterやってます♪

コドモックルはTwitter（ツイッター）を使って情報発信しています。
コドモックルでのできごと・お知らせの掲載、災害時に情報提供を行います。
ぜひ、フォローお願いします。